



1 宮大工の家系で、2代目社長の懸樋義樹氏 2 鳥取市の湖山池の近くに社屋を構え、洗練されたデザインが目引く 3 オフィスはフリーアドレスにしている。明るく開放感のある空間だ 4 5 店舗やオフィスのトイレ空間について、より良い環境を提案。実際に社屋で体感できる 6 若い社員が働きやすいようにと、ユニフォームの素材やデザインにもこだわっている



設計施工だけでなく 顧客の未来を考えた 働く空間を提案

鳥取市に拠点を置く『懸樋工務店』は公共事業や民間企業のオフィス、店舗、工場などBtoBの建設や土木事業をメインに、企画・提案から設計、施工、さらにアフターメンテナンスまでサービスを提供している。1954年に現在の代表取締役社長、懸樋義樹氏の父が創業したが、懸樋家は宮大工の棟梁の家系だ。この地に根差し、鳥取市内の寺社仏閣や、伝統芸能として伝わる麒麟獅子の獅子頭などを手がけてきた。人と人、または人と地域の懸け橋のような存在でありたいと「お客様の懸け橋」をスローガンに、年間300件以上の実績を上げるが、同社が一味違うところは設備や働く環

境などの空間の提案まで行う点だ。懸樋社長が空間の重要性を強く感じたのは3年前、自社の《スポーツ健康事業部》が運営するゴルフ練習場とフィットネスジム、併設するカフェを大幅にリニューアルした時だ。この時、マシンは既存のものを使いつつ建物のデザインや機器の配置を一新。施設内に流す音楽も含めて世界観を統一したところ、大きな宣伝なしでも利用客が増加し、それまで利用していなかった自社の社員も通うようになった。「機能は同じでも空間次第で利用者は増減する。責任の重大さを知ったからこそ施主様に適当なご提案はできません。建物は住む人や使う人、また周囲に大きな影響を与えます。都市を彩る」という観点から、まちの景観を壊さず快適な都市空間を創出する建物を施主様にご提案することもあります」と信念を持って顧客と向き合う。

過去に同社が手がけたリノベーションで、良い空間ができたと思っても、家具や備品が搬入された途端に mismatches を起こした経験が何度もあったという。「あらかじめ家具などが決まっていれば、その情報を参考に空間づくりができます。せっかくお金と時間をかけるわけですから、その会社の発展につながるようなご提案をしたいのです」と、インテリアコーディネーターも在籍してオフィスインテリアを手がけるほか、顧客の未来や働くスタッフ、さらにエンドユーザーまで見越したサービスの提供を心がけている。

建設分野以外にも挑戦する 地域に根差しつつ広い視野で事業を展開する懸樋工務店だが、スポーツ健康事業部では2021年に小学生・大学生を対象としたゴルフチーム（ハーフィニティGOLFTEAM）を結成。マンツーマンで指導し、現在は小中学生15名が所属する。「保護者の方は送迎も大変だと思うのですが、お子さんが挨拶をするようになった、家族で共通の趣味ができたなど、うれしい報告をいただいています」と優しくほほ笑む。またジムのトレーナー2名は理学療法士の資格を持ち、鳥取市内の中学・高校や代表チームのトレーニングコーチも請け負う。「地域貢献というわけではありませんが、子どもたちに何かしてあげたい」と、メインの建設事業だけでなく、スポーツ健康事業にも力を入れていきたい考えだ。 会社が進化を続けるためにも失敗を恐れず行動できる若い力が必要だ。同社では資格取得費用のサポートなど成長を支援する。「失敗しても学びを得れば大丈夫。自ら考え挑戦する人を求めています」と懸樋社長は力強く呼びかける。



株式会社 懸樋工務店

お客様の懸け橋に 工務店の枠を越えた挑戦を

18
LEADING
COMPANY



1 道路・砂防ダムをはじめ安全で快適な生活を守るために欠かせないインフラ整備を行っている 2 鳥取県八頭郡八頭町にある《大江ノ郷ヴィレッジ》。大小さまざまな店舗やオフィス、工場の建設を手がけている 3 運営するフィットネスジム。落ち着いた環境でトレーニングでき、スタッフも福利厚生のひとつとして利用する 4 ゴルフ練習場《グリーンゴルフ21》。カフェが併設されており、夏になるとかき氷が人気で女性客にも評判

株式会社 懸樋工務店

業種 総合建設業

事業内容 建物の設計施工、土木工事の施工、ゴルフ練習場「グリーンゴルフ21」の運営、パーソナルトレーニングジム「PT Body Lab.」の運営

創業 昭和29(1954)年3月1日

代表者 代表取締役 懸樋 義樹

社員数 49名(男37名 女12名)

〒680-1417

鳥取県鳥取市桂見573番地

TEL/0857-28-4788

https://www.kakehi-const.co.jp

求める人材像 Check!!

- 人と話をすることが好きな人
- 目的意識を常に持てる人
- 常に新しい事にトライするエネルギーを持っている人
- 正しいと思う事を貫き通せる、芯を持っている人
- 仕事にこだわりを持てる人

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0857-28-4788

採用直通 E-mail

info@kakehi-const.co.jp

資料請求

インターンシップ

会社見学

公式サイトは
こちら



設計を軸にマルチに活躍

鳥取県内で一級建築士が在籍する工務店は、まだまだ数が少ない。牧田さんは、前職はハウスメーカーに勤務していたが、一級建築士の資格取得後、事務所や店舗を手がけてみたいと、鳥取県内でも豊富な実績を持つ同社に転職した。「設計だけでなく、営業的なことやアフターフォローまで、自分がやりたいことをさせてくれる」とマルチに活躍する。設計にとどまらず、コンセプトから提案して期待された以上の



ものができた時のやりがいは大きい。設計室自体が6年目と新しく、軌道に乗りつつある中、牧田さんは「より広がりのある提案をしていきたい」とやる気にじませる。



設計室
牧田 賢一さん
(入社4年目)

会社の進化を裏方で支援

「進化を続ける老舗」として、常に新しい事業にチャレンジする同社。伊藤さんは新規取り組みの推進役として、システムの導入やブランドの周知、採用活動などさまざまな活躍する。「仮説を立てて取り組んだことがうまくいくと、達成感を感じます」とはつらつと笑う。前職は医療系メーカー営業。当時身に付けた段取りを組む力に加え、未知の仕事に同時進行で挑戦する中で応用力が鍛えられたと実感している。



「今後、何らかの“鳥取初”を発信したいです。たくさんの方から『おもしろそう』と思ってもらえるよう、黒子役としてサポートして、“カケヒ”で街いっぱいにしたいです」と意気込む。



経営企画室
伊藤 温美さん
(入社1年目)

心地良い環境でスポーツやトレーニングを

スポーツ健康事業部の《グリーンゴルフ21》は女性や初心者にも人気のゴルフ練習場。マネージャーの伊藤さんは「お客様から『綺麗ですね』と喜ばれています」と環境を整えることに常に気を配る。併設するパーソナルジム《PT Body Lab.》は開設3年目。運営を任されている坂内さんは理学療法士でもあり「医学的知識を活かしたパーソナルジムを目指し、責任を持ってトレーニングを考案しています」とお客様と真摯に向き合う。



グリーンゴルフ21
伊藤 慎吾さん(入社8年目)



PT Body Lab.
坂内 徳明さん(入社2年目)



建築部 副主任
押方 功次朗さん
(入社10年目)

建築部 部長
三島 達彦さん
(入社38年目)

三島さんは部長として各現場の進捗状況や安全管理などの状況把握につとめる。押方さんは現場監督として、工程管理や原価管理、現場管理などが主な仕事。お互いに親しみのこもった話しぶりで、建築部の雰囲気の良さがあらわれている。



豊富な経験で後輩を導き、建築事業を盛り上げる

押方 三島部長は、大手ゼネコンと組んだ大型案件をいくつも手掛け、担当した案件では“赤字は出さない”をずっと実行してきた経験豊富で自分にも厳しい人です。

三島 鳥取県警察本部庁舎や鳥取県民体育館など、若い頃から大手と一緒に現場監督をやらせてもらったのは良い経験。昔だから、今では考えられないような無茶な対応を迫られることもあったし、行政や設計側との対応、協力会社への頼み込みとか、思い出は山ほどあるけど自分の力になったと思う。

押方 三島部長は後輩に極力何でも経験させてくれますよね。僕もここ2~3年で、一人で現場監督を

任されるようになりましたが、人数

が多ければ良いというものじゃないと感じます。

三島 外注できるものは外注するけど、少数精鋭のほうが責任転嫁も起きなくて、綺麗な建物になる。押方はよくわかっている。懸樋には今4人の中堅がいるけど、盛り上げてくれると期待している。

押方 先輩方からまだまだ吸収したいことがたくさんあります。知らない工法や複雑な図面を見ると燃えませんか？

三島 わかる。技術者魂に火が付く(笑)。次の押方の現場も間違いなく良い経験になると思う。大変だろうけど、頑張る。

押方 着工までもう少し!安全に進められるよう、準備していきます。

**インフラを支えやりがいも大きい土木工事
段階を踏んで若手を温かくサポート**

古志 村上くんは息子と同世代。2人で現場管理をしているけど、注意するような場面でも「親御さんに見られて恥ずかしくないように」って意識している。ご家族に悲しい思いをさせたくないから。

村上 いつもありがとうございます。古志さんは仕事や人に対してとても真面目に向き合っているなど、いつも学ばせてもらっています。

古志 村上くんはとても素直で、でも自分の考えもきちんと持っている。土木は40~50代の社員ばかりの中、若手が入ってくれてみんな喜んでるよ。

村上 段階を踏んで丁寧に指導し

てもらっているんで、僕自身も2級土木施工管理技士を目指してがんばりたいです。いずれは特殊な工事も手がけてみたいです!

古志 いいね。1つとして同じ工事はなくて、常に新しいことが待っているからそれも楽しみにしてほしい。無事に工事が終わった時の達成感は大いよ。

村上 楽しみです。今は友だちに「岩美道路を自分がつくっている」と自慢して、やりがいを感じています(笑)

古志 新しいものを積極的に取り入れる会社だし、現場の考えを尊重して裁量も大きい。その分責任も増えるけど、やりがいは大きいよ!



建築部土木課 課長
古志 宗幹さん
(入社17年目)

建築部土木課
村上 太一さん
(入社1年目)

古志さんは土木課のベテラン社員として、公共工事などの現場監督をつとめる。村上さんは古志さんにサポートしてもらいながら、測量や提出用の工事写真の撮影・整理、書類整理などに従事して、段階的にステップアップしている。

